

話題 街に ひろう

〈東日本大震災関連〉

支援の輪

広がる



| 自治体名 | 布団の数(組) |
|---------|---------|
| 古河市 | 169 |
| つくばみらい市 | 50 |
| 北茨城市 | 70 |
| 鹿嶋市 | 150 |
| 宮城県仙台市 | 520 |

寄付された寝具は、市内避難所のほか、上記へ送付・活用させていただきました

↑たくさんのボランティアの協力を得て、避難所の準備が整えられました。

東北地方太平洋沖地震の発生および福島第一原子力発電所の事故を受け、3月17日から19日に各行政区の皆さんに、福島県からの避難者受け入れのための寝具を寄付していただきました。その結果、たくさんの寝具が集まり、市内避難所(市総合福祉センター)のほか、近隣自治体、宮城県仙台市へ送付・活用させていただきました。皆さんのご協力ありがとうございました。



避難所となった市総合福祉センターでは、ボランティアが食事の準備や受け付けなどで活躍しています。

姉妹都市

茨城県常陸太田市

3月16日、市は東北地方太平洋沖地震の影響を受け、一部地域で断水していた姉妹都市・茨城県常陸太田市へ災害派遣を行い、現地で給水活動を行いました。



親善友好都市

宮城県色麻町

しまちりょう

3月15日、市は親善友好都市である宮城県色麻町へ災害派遣を行いました。池辺勝幸市長は「被害が海岸付近に集中していて、内陸の支援が遅れています。皆さん、体に気を付けて活動してきてください」と災害派遣隊を激励。保健師1人を含む8人の職員で構成された災害派遣隊第1陣は、米や燃料、トイレットペーパーなどの救援物資をトラックに積み込み、出発しました。派遣隊は、15日から18日の4日間現地での活動。保健師は、一人暮らしの高齢者宅を回って、健康指導などを行いました。



色麻町…牛久市と同様、「河童」にまつわる伝説が語り継がれている町。昭和63年7月23日、親善友好都市提携調印。



常陸太田市…昭和61年、水府村(現・常陸太田市)と姉妹都市提携調印。水府村が合併して常陸太田市になったことに伴い、平成19年7月28日、うしくかっぱ祭りオープニングセレモニーの席上、両市長により姉妹都市提携調印。



宮城県亶理町へ災害派遣

わたりちょう

市は、宮城県の要請を受けて、宮城県亶理町へ災害派遣を行いました(4月19日現在で計7回)。派遣隊には、災害ボランティアも参加。派遣隊は現地で救援物資を運搬し、救援物資の仕分けや各避難所(計6カ所)を回って、物資を搬入するなどの活動をしています。

←第3次災害派遣隊・災害ボランティアの島田正男さん、田淵哲也さん(写真左から)



第4次災害派遣隊・災害ボランティアの佐藤輝夫さん、成井秀喜さん、福田靖夫さん、広川智一さん(写真左から)



第5次災害派遣隊・災害ボランティアのタガビテハラニネジャドモーセンさん、千本博さん、宮下春男さん、那須健二郎さん(写真左から)

寄付金のご協力ありがとうございます

3月25日、ひたち野にお住まいの荻島三起生さんから、池辺勝幸市長に10万円が「ふるさと牛久応援寄附金」として寄付されました。

この寄付金は、市の震災被害活動支援や地域福祉の増進のために使われます。



4月1日、ボーイスカウト牛久4団から、17万5,810円が「ふるさと牛久応援寄附金」として寄付されました。

同団体は、今年で結成25年目。この寄付金は、3月26日に同メンバーが牛久駅前で行った募金活動によって集めたもので、市の震災被害活動支援に使われます。



4月4日、タキイ種苗(株)から池辺勝幸市長に、「ふるさと牛久応援寄附金」として10万円が寄付されました。

この寄付金は、市の震災被害活動支援に使われます。



3月25日、牛久荳崎ライオンズクラブアイリス支部から池辺勝幸市長に「ふるさと牛久応援寄附金」として10万円が、(社)牛久市社会福祉協議会に5万円が寄付されました。

この寄付金は、市の震災被害活動支援や地域福祉の増進のために使われます。



3月25日、牛久市東北南県人会から池辺勝幸市長に、「ふるさと牛久応援寄附金」として5万円が寄付されました。

同会は、宮城、山形、福島県出身の市民52人が会員となって、親睦を図っている団体です。この寄付金は、市の震災被害活動支援に使われます。



4月5日、(有)イーパック牛久から野口憲副市長に、100万円が「ふるさと牛久応援寄附金」として寄付されました。

この寄付金は、市の震災被害活動支援に使われます。



おわびと訂正 4月1日号広報うしく23ページで「国道6号バイパスの事業促進などについて要望」の写真の説明に誤りがありました。正しくは茨城県土木部長です。おわびして訂正いたします。

ぶれいく
ちよつと休憩

このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方は、その旨記入してください。ペンネームもOKです。

あて先：〒300-1292牛久市中央3-15-1
「広報うしくちよつと休憩」係
Eメール shimin@city.ushiku.ibaraki.jp

平成22年度茨城県統計功労者表彰式

1月19日(水)、茨城県庁舎9階「講堂」で行われた「平成22年度茨城県統計功労者表彰式」で表彰された市内の方をご紹介します。おめでとうございます。

【総務大臣表彰】

金子 隆

【経済産業省調査統計部長感謝状】

飛田 喜一

【茨城県統計協会総裁表彰】

本橋積善、木村信子、金子房子（順不同・敬称略）

皆さんのお便りから

海外から届いたメッセージ

はじめまして。私は、平成22年6月まで牛久市に住んでいた鈴木と申します。現在は、JICA 青年海外協力隊の体育隊員としてエチオピアに赴任し、活動を行っています。

さて、今回の東北地方太平洋沖地震ですが、現在でも世界中のニュースでトップニュースとして取り上げられています。また、私が赴任しているエチオピアでも毎日、同僚、友人、道行く人がわざわざ足を止め、「日本は大丈夫か?」「家族は無事か?」「今から教会に日本のために祈りに行くよ」と言ってくれます。協力隊として世界中に散らばった友人たちからも同じような様子を聞いています。

また、これはある国の協力隊員から届いたメールです。

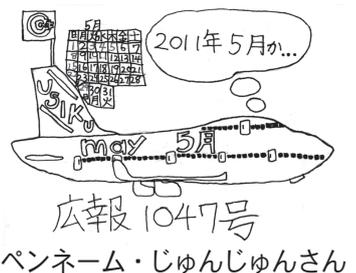
『授業料もなかなか払えない、本当に安い賃金で農場で働いている、普段私たちを見つけるたびに「お金をくれ」と言っている人たちが、本当に悲しい表情をしながら何人も日本のために募金をしてくれました。いただいたお金は日本円で1~2万円ほどです。日本赤十字社に渡せばとても少ない金額です。しかし、そんな状況に置かれている人たちからの募金は、とても言葉では言い表せない重みがあります。遠く離れた私たち日本のために、少しでも何かしたいという思いを日本人に知ってほしい』

今世界中の人たちが日本を心配しています。世界中の人たちが日本を想っています。日本にいるとなかなか実感できないことですが、こんなにも遠く離れた国を想ってくれている方々がいるんだと気付かされました。私はそれを一人でも多くの日本人に知ってほしいのです。もちろん、私の愛する地元である牛久市の皆さんにも。

平成23年3月18日

エチオピア・鈴木さん

短歌・俳句・山柳コーナー



ペンネーム・じゅんじゅんさん



南・犬塚さん

震災に負けずつくしの芽が高く

南 村山さん

震災の教訓いかして地域作り

さくら台 月田さん

春待つや庭に行列黄水仙

小坂町 飯塚さん

水仙や孫春運び拝む墓

田宮 岡村さん

風邪ひくな孫のひと言予防薬

桂町 木村さん

楽しくて笑いころげるクロツケー

女化町 菜の花さん

雑達の餌を求めて譟の中

下根町 藤田さん

サアやるぞかけ声かけて職さがし

刈谷町 小山さん

母に似し鏡の中に我ありき

女化町 女化小町さん

大地震壊れ落ちくる瓦礫の山に戦争の日は蘇る

岡見町 根本良子さん

イラスト、俳句、川柳など、毎月たくさんのお便りありがとうございます。紙面の都合上、すべてを掲載できない場合がありますが、今後もたくさんのお便りをお待ちしています。